

今回は、令和2年度卒業生の合格体験記です。

◇ 藤田医科大学医学部医学科の合格体験記（齋藤洋翔さん）です！

関高生の皆さん、初めまして。私は令和2年度に関高校を卒業した齋藤洋翔です。今年度、私は藤田医科大学の医学部医学科に合格することができました。私の経験が後輩たちの役に立てばと思い、合格までの道のりをここに記します。

まずは学習の観点からお話します。高校生時代の私はお世辞にも成績が良いほうだと言えませんでした。全統模試の偏差値は52付近で、医学部受験に必要な65をはるかに下回っていました。今となっては、その原因ははっきりしています。それは基礎を疎かにしていたからです。皆さんは、「基礎が重要である」ということをいろいろな先生方から耳にタコができるほど教えられているとは思いますが、私の立場からも基礎が重要であると言わせてもらいます。

化学を例に挙げてみましょう。皆さんは化学反応式を見たときに何を考えるでしょうか。高校化学における化学反応は、遊離・中和・酸化還元・沈殿形成反応の四つに大別できます。これらを一瞬で見分けることができなければ、問題にどうアプローチをすればいいか、解けなかったらどの単元に戻ればいいのか分からなくなります。

また暗記をするにしても完全に丸暗記になるので効率が悪いです。これでは時間をかけても成績は伸びません。一つずつ確実に基礎を積み上げましょう。過去問を解くのは、それらが完了した後でも十分間に合います。（実際に私が過去問を解き始めたのは11月中旬です。）

次に学校での課外活動についてです。

私は高校二年生の時に家庭クラブ委員会の委員長を務めました。そこでは、米の消費拡大から持続可能な社会を構築するというテーマの下で活動し、リーダーシップや多面的に物事を考える能力を身に付けることができました。二次試験ではこの経験をもとに面接官と会話を広げることができたので、合格に重要なファクターであったと考えています。もしこのような活動に参加できる機会ができたのなら、ためらわずに挑戦すると良いと思います。きっとあなたの力になるはずです。

次に生活面です。6時起床、24時就寝を徹底してください。心身が健康でないと学習の効率が下がります。もし睡眠不足を感じたなら、就寝時間を早めてください。また、入学試験は9時過ぎから始まることが多いです。試験で最も高いパフォーマンスを出せるよう一年かけて身体を調整してください。

最後にモチベーション維持についてです。受験は長くつらい戦いです。受験を乗り切るために、今すぐ誰かに自分の目標を宣言してください。宣言する相手は、親でも先生でも友人でもいいです。その言葉は、自分を縛る枷ではなく自分を支えてくれる杖となるでしょう。

以上の点を念頭に置いて勉強することができれば、きっと第一志望に合格できると思います。

良い春を迎えられるよう頑張ってください！

